

常任委員会

Q & A

総務委員会

開会日 2月21日(金)・27日
(木)
案件 議案17件・陳情2件
・報告7件等

●豊島区基本構想

問 住みたいまちとしての本区の評価は高まっており、今後は更に住み続けられるまちとして高みを目指すことが求められると感じているが、いかがか。

答 3つの理念のうちの1つにある、出会いと笑顔が咲きほこる、憧れのまちという理念の中で、愛着を持って、誇りを持って、長く住み続けられるまちを目指している。様々な制度を組み合わせて、長く住み続けられる施策を総合的に展開していきたい。

都市整備委員会

開会日 2月25日(火)
案件 議案2件・報告5件
等

●豊島区道路占用料等徴収条例(一部改正)

問 1年間の道路占用の申請件数は。

答 5年度は約2千800件の申請があり、許可をしている。インフラ関係の占用が約千500件、一般の占用が約千300件である。

問 道路占用料の歳入は、道路関係の歳出に使用されるのか。

答 道路関係のシステム維持管理費、看板の実態調査費、道路の清掃事業費等の道路に関する多彩な事業に充てている。

子ども文教委員会

開会日 2月25日(火)
案件 議案1件・報告11件
等

●豊島区児童福祉施設設備及び運営の基準に関する条例等(一部改正)

問 文言追加された管理栄養士について、栄養士との違いは。

答 管理栄養士は上位職としてより高度な知識等が必要となる。

問 「栄養士または管理栄養士」との記載へ改正する理由は。

答 栄養士法改正により、管理栄養士の免許を持たずに管理栄養士の国家試験を受けられるようになる。栄養士免許を取得していない、管理栄養士の資格を持つ者へ対応するため。

問 保険料の普通徴収における仮算定の廃止に伴い、納期を12期から9期に改正することだが、1回当たりの納付額が増額になることについて区民にどのように周知するのか。

答 高齢者医療年金課と介護保険課の両課で連携し、個別に通知を送付するほか、広報としまやHP等により丁寧に周知していく。

予算特別委員会

2月12日の本会議にて、令和7年度一般会計等4会計予算を審査するため、17名の委員からなる予算特別委員会を設置しました。

8日間にわたる質疑を行い、最終日の3月21日には、会派ごとの意見表明(要旨は8面)後、採決を行った結果、一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計について、いずれも賛成多数で原案を可決することとしました。

●以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

政策経営費

●シテイプロモーション推進事業について

問 シテイプロモーションと区の広報との違いは。

答 区の広報は区政情報や暮らしの情報や広く区民を中心に発信しており、シテイプロモーションは区の多彩な特色を区内、区外に向けて強く発信している。

総務費

●平和事業について

問 7年度の平和事業の内容は。

答 戦後80年という節目の年であり、原爆の被災パネル展、中学生長崎派遣、被爆者団体による語り部事業等を予定している。

福祉費

●犯罪被害者等支援事業について

問 7年度予算51万円の内訳は。

答 遺族への支援金として30万円、重傷病に対する入院費等への支援金として10万円を予定。シンポジウムの経費やその他の施策についても今後検討する。

衛生費

●池袋保健所について

問 新保健所の機能の特徴は。

答 区民の使いやすさに配慮したワンストップ窓口、災害時の医療対策本部やパンデミック等緊急時に使う会議室等を設置予定である。

環境清掃費

●公衆喫煙所について

問 コンテナ型の公衆喫煙所を区内で初めて設置するに至った経緯は。

答 毎年、区民からたばこに関する苦情が数多く寄せられており、喫煙所の設置に関する声も上がっている。コンテナ型は分

区民費

●区民ひろば構想について

問 新たな構想の概要は。

答 目標の実現に向け、運営面

の見えるし、事業メニューの拡大、

煙効果が高く、区民の健康を守る対策として効果的である。

都市整備費

●放置自転車対策について

問 以前と比べ、区内の放置自転車が大きく減った。特に駐輪場の整備が大きな柱だったと思うが、これまでの取組は。

答 これまで、区だけでなく国道や都道の各道路管理者、鉄道事業者等と協議の上、協働して整備を進めてきた。

文化スポーツ費

●豊島区生涯学習推進ビジョンの改定について

問 子ども・若者の学びの支援は、どのように取り組むのか。

答 千早地域文化創造館にラーニングコモンズを設置する等、安心して学べる居場所を作る。

産業観光費

●ファーマーズマーケット運営経費について

問 2千万円削減の内容は。

答 指定管理者が外部委託している設備費・運営費等を縮小することで、負担金を削減する。

子ども家庭費

●若者の居場所事業について

問 都の3C補助金が終了するが、今後の事業の活動予定は。

答 委託ではなく、各団体が継続して活動を実施予定。

教育費

●不登校対策について

問 不登校対策スーパーバイザーはどのようなことをするのか。

答 多様な学校等の管理職経験者の知見と経験を基に不登校を生まない学校づくりを進める。

国民健康保険事業会計

●財政の健全性について

問 現状の分析は。また、どのような認識か。

答 一般会計からの法定外繰入れを縮減、解消していかなければならない。そのためには、今後も医療費の適正化と収納率の向上の取組が一番の課題である。

後期高齢者医療事業会計

●収納対策について

問 今年度特に強化した取組は。

答 口座振替の申請について、電子申請メニューから24時間いつでも申請を可能とした。

介護保険事業会計

●選択的介護について

問 現在の進捗状況とその効果は。

答 保険外サービス提供事業者数は、4年度の63件から現在92件まで増加。利用者と事業者の双方で効果が認められている。

予算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎藤澤 愛子(自民党豊島区議団)
- 辻 薫(公明党)
- ◎井上 幸一(自民党豊島区議団)
- ◎泉谷つよし(維新・無所属)
- ◎ふるぼつ知生(維新・無所属)
- ◎西崎ふうか(立憲・れいわ)
- ◎宮崎けい子(立憲・れいわ)
- ◎ふま ミチ(公明党)
- ◎池田 裕一(自民党豊島区議団)
- ◎片岡きょうこ(都民ファーストの会・国民)
- ◎塚田ひさこ(立憲・れいわ)
- ◎島村 高彦(公明党)
- ◎磯 一昭(自民党豊島区議団)
- ◎細川 正博(都民ファーストの会・国民)
- ◎中澤まゆみ(都民ファーストの会・国民)
- ◎儀武さとし(日本共産党)
- ◎垣内 信行(日本共産党)

※新たな区民ひろば構想の目標…誰ひとり取り残さない地域コミュニティ拠点の形成。
※3C…東京都の子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業。